

徒歩二分・LETRA presents





レミリアの度重なる  
選択肢ミスにより

フラン「怖くて眠れないの…」  
「仕方のない子ね。こっちへいらっしやい」  
「ロリっ子上目遣い萌え！」  
→「あんたが一番怖いわ」

ついに切れたフランドール！


今、紅魔館は、恐怖と破壊と……






私が  
ガン!!

フランドール様を  
止めるっ!!



わはっ!  
今回はみんな元気ね!  
すごい楽しい!でもねっ



アイツの妹だからって  
手加減なんていらない!  
全力でかかって来い!



『現界の扉を  
打ち開けて』

手間が減って  
助かるわ

それ以来妹様に対する恐怖心は  
倒せばステータスとなる  
功名心へと変わったのよ、通称—  
『博麗インパクト』

初耳です

レミイが紅い霧を発生  
させた時に、赤白が妹様  
共々シバき倒した事が  
あったでしょう

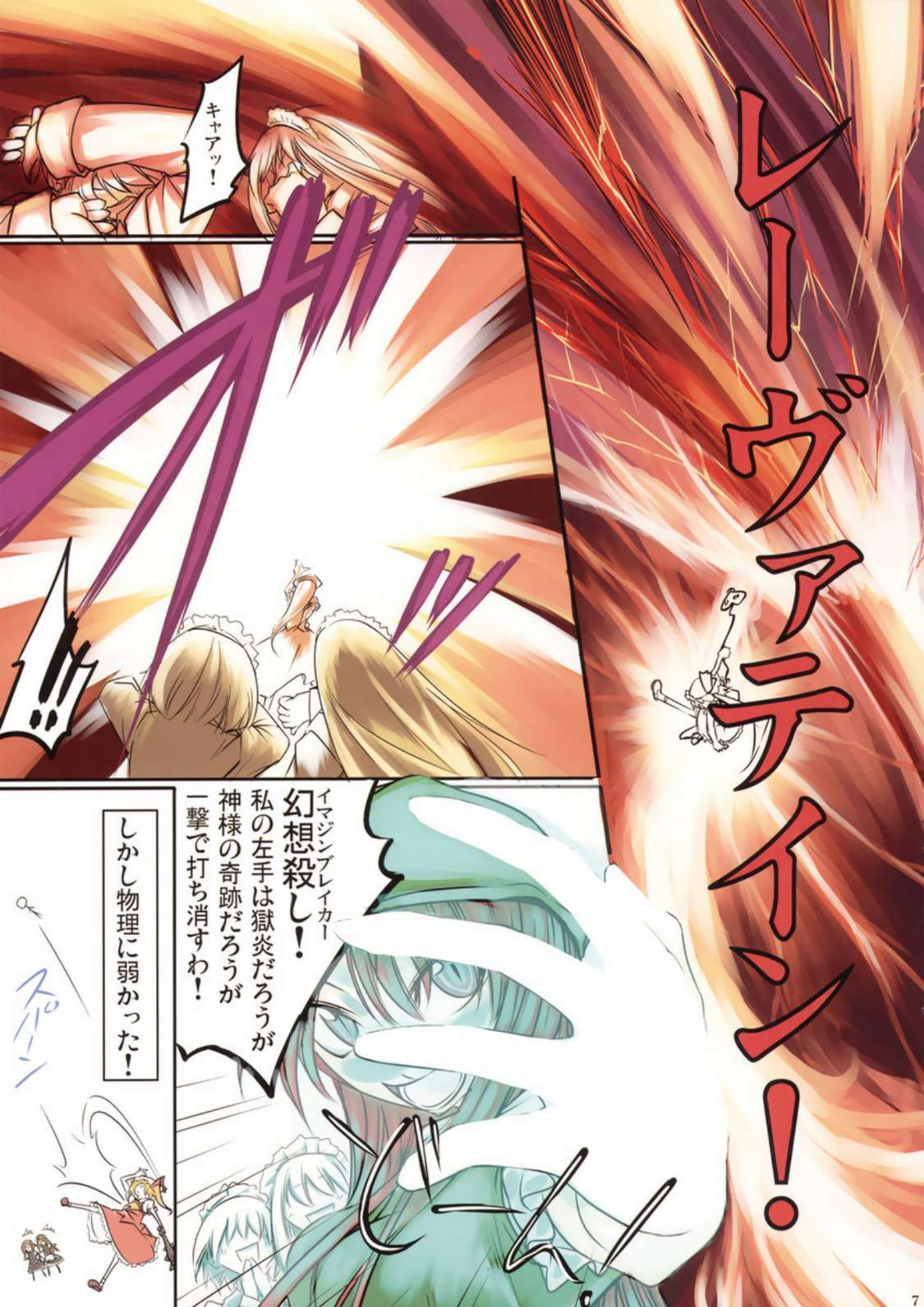
皆さん元気ですわねー  
フランドール様が  
怖くないのでしょうか？

怪造——

カ  
ル  
ブ  
ン  
ク  
ル  
ス  
血色の宝獣！

現界の扉を  
打ち開けて！  
虚界の闇に  
歩を進め！

戦闘形式——



ムーヴアテイン!

キヤアッ!

!!

イマジネブレイカー  
幻想殺し!  
私の左手は獄炎だろうが  
神様の奇跡だろうが  
一撃で打ち消すわ!

しかし物理に弱かった!

スーパースター

イーチャーズリンク、  
切断します

うえっ!?

レギオン!

もっと楽しませてよっ!

知ったか







『ライン』  
序列一位…！

来た…

『メイド組』唯一の  
人間にして紅魔館を  
実質指揮する方！



切断します

台座、完成



お…

咲夜っ！！

パーフェクトメイド

十六夜咲夜でございます





Go on, make my day!  
(かかってこい)



...美少女だから！





私、気を失ってましたか…  
それにしても運動不足が  
過ぎますよ、この足

解消にいい機会  
だったのに



おはよう

…あれ？



…相当溜めて  
たようね

今回は自分で  
解決するのよ



それは外の  
メイド組だけよ

今回は私の方が活躍  
したんだから少しは  
可愛がって下さいよ

…貴方は本当に  
嫌味が好きね



やかましい

酷い…！私は  
パチュリー様  
のお体が本当に  
心配で…！



アンタまでやられるなんて…  
門番なら物理と炎は  
無効化できるでしょうが

彼が特別なんですよ



胸が陥没してる！



大変、可愛そうに…！



…大丈夫かしら

陥没は  
冗談ですよ？

咲夜さんは  
過保護だと思います  
すぐに仲直りしますよ

…そうかしら



昔から思ってたんだ  
なによこいつ、どこが  
お姉ちゃんなのよって

生まれて一度も館の外に  
出してくれないし、  
それどころかずっと  
地下に閉じこめ  
させられるし…



一緒に食事したり  
お買い物したり

菌磨きのタイミングが被って  
二人並んで馬鹿みたいな顔してみた  
事なんて一度も…!!

なに？今度は  
そういうのが良いの？

うるさいっ！  
アンタに言われ  
たくないっ！

本当に、我が儘で  
ひねくれ者なんだから



あっ!

確かに姉らしい行動なんて私には分からない

それでも、私がいる限り、貴方は私の妹よ

私がある限り：貴方はどうしたって妹属性も外せなければロンリー属性も付加できないわ



…本当に嫌だったら  
嫌って言うのよ



しばらくそこで  
反省してなさい

ぶー



これだよ



何それ？

は？

馬鹿じゃん？



脳無しのお嬢様には  
徹底した教育が必要であると  
先日のバカ騒ぎで証明された為、  
しばらく此処で生活して頂きます  
朝から晩まで私と一緒にですよ

いや…そりゃ脳無いけどさ…  
主人にその言い方は  
無いんじゃないかしら…？

ギリギリ主人です

一応私も被害者なんだし  
いたわりの心みたいなの…

同じ台詞をぼこぼこにされたメイドの  
皆さんの前でぬかしてみやがれです

せめて友人やってて  
恥ずかしくないレベルには  
させてやりたいところね

馬鹿すぎて可愛いわよ貴方

…うー

茶戸でした。  
今回パロディをいっぱい入れてみよう!と  
思って描いてたのですが、どうにも  
中途半端に終わった感じです。  
大筋には全く絡められなかったかな。  
難しいなあ。

フルカラー漫画は期待以上に楽しんで  
描きました。もっと遊べそうな感じなので  
また機会があったら描いてみたいです。

気がつけば紅魔館メインの漫画も四本目、  
結構描いてるなあと思ったんですが  
LETRAの山田小町漫画には敵わんな(笑  
という事で←から滝太郎さんの漫画です。







怒

怒



正しくはコシ↓ (たぶん)

相殺インチルノ

発行日：2007.4.22  
発行：徒歩二分 (茶戸)  
LETRA (滝太郎)  
印刷：関西美術印刷

<素晴らしきゲスト様>  
ゆばさん. ろくさん  
ありがとうございます…!

地獄の季節

Une Saison en Enfer

滝太郎







アンタは  
死んじまったんだよ



再思の道……？



信じられんかも  
しれないが


ぽん



いやこれから  
連れてくんだ




…死んだ？




信じられないのは私の方です

九代目がこんなにも早く終ってしまうとは



このたびの阿礼の器は全く役に立たなかったな




転生の準備の前に貴方は私に許しを乞わなければならなかったというのに



それすらも出来ぬまま


キッ



とにかく早く  
一緒に来なさい！  
準備を急がねば

ま……  
待って下さい

せめて今書いている  
ものだけでも  
纏めさせて下さい！



駄目だ！それは  
次の代の者が  
やればいい事

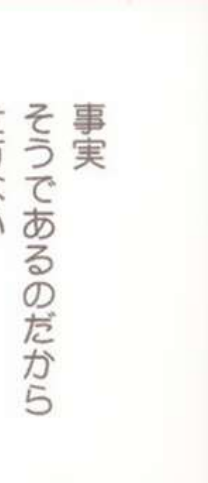
お前の役割りは  
終わったのだ！



御阿礼の子で  
なくなれば  
私はその価値が  
ないかのようだ……

今は転生に備える  
事だけ考えろ

急ぎなさい！



事実  
そうであるのだから  
仕方ない

次の者……  
それは私であって  
決して私でないもの

わたし  
阿求がやり残した事は

私には私の想いがある……

私にしか出来ない！

私には行きません

まだ……死にたくない

こんな所でこの命を

！！！！



終わりに  
したくない！

行きません！

こんな所で  
逃げ出すようでは  
転生できないな

まあまあ  
気持ちの整理が  
着くまで待つて  
あげましょうや

愚かな事を…

小町！あの者を  
捕らえるのです

捕らえなさいっ！

ここはまだ  
入り口ですら  
ないのだ

これから待ち受ける地獄の…



走ったのは  
生まれて初めてだ

「走る」いう  
必要が御阿礼の子に  
ないからか

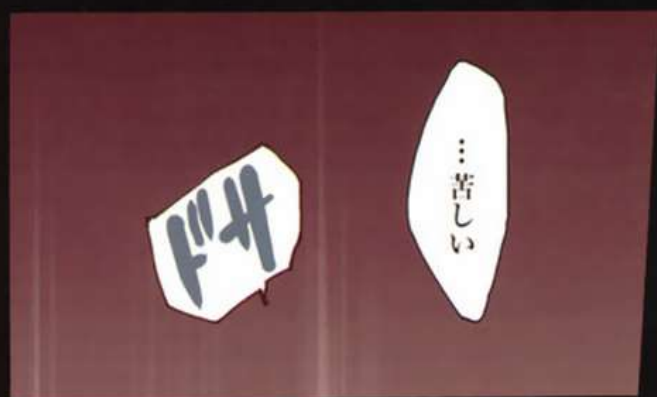
この体は  
ちよつとした運動  
にも耐えられない



日々  
自分の役割を  
果たすだけで  
精一杯だ

フム...

無理や苦しい  
思いをするのは  
馬鹿馬鹿しいと  
思っていた  
でも...



...苦しい

ドゥ



少し走っただけで  
こんなに苦しいんじや

逃げられるわけ  
ないじゃないか...

フム...

フム...



こんな私でも  
最期の時くらいは  
抗いたいんだな...

だからこうして  
無駄な事をする!



御阿礼の子の転生が  
不完全の肉体で  
行なわれてくるのは

閻魔がその様に  
逃えているのでは  
ないだろうか？

はあ  
決してこの運命から  
逃さぬように



彼女たちのように



はー！



…私も



足に枷をつけて

地上に送りだす

はあ

空を飛べたなら良いのに…

もし私が阿礼の  
生まれ変わりでなかったら

その「もしも」は出会って  
知った人の数考えたものだった

空が赤い！





もう私は…

こんなことする  
必要もないのに！



私は御阿礼の子  
以外の何者でも  
ないじゃないか



走ることも飛ぶことも  
叶わぬ私は

やっぱり最期は

御阿礼の子で  
あろうとした


ごうん…



私がやってる事や  
やりたい事は  
全部御阿礼の子  
としてのもので

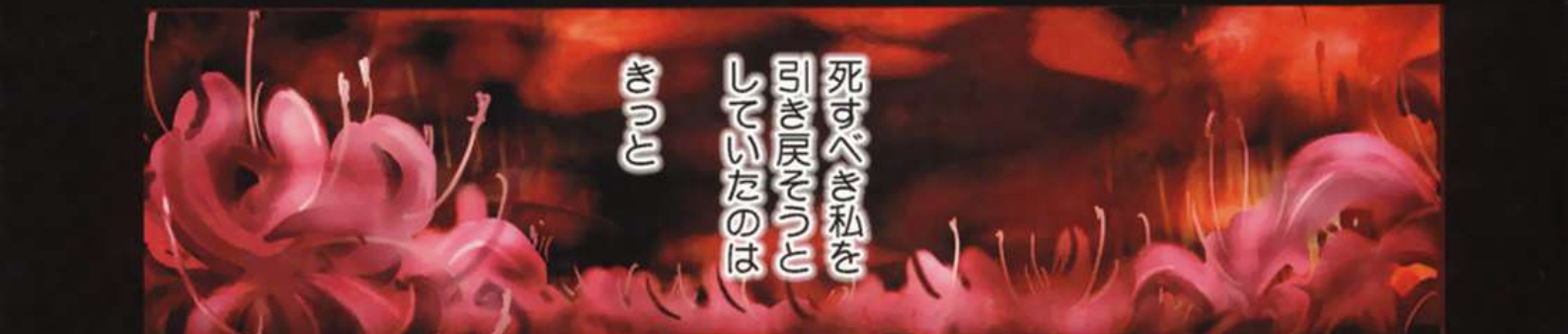
私なんてモノは  
なかったんだ

ならば  
恐れなくていい




そんな心や  
想いなら

消えてなくな  
ったとしても  
悲しくない



死すべき私を  
引き戻そうと  
していたのは  
きっと

彼岸花の毒――…



私は死を  
恐れる必要はない！

行くぞ！  
覚悟は出来てる  
かい？

いやっ



いえ：それは

言い訳にすぎませんね  
ただ私が転生する為の申請を  
怠っていただけなのです



御阿礼の子として役割を  
果たしておりますんでした

大変申し訳  
ありませんでした



転生するまでの間

閻魔様のもとで  
働く事は許される  
でしょうか…




ご迷惑をおかけしました


突然の死とはこちらとしても  
予期せぬ事態で…



悪いがこれが  
私の役割なんだ



こんな  
臆病な私でも



いやアンタは  
賢い子供だよ

そういう  
人間は好きだ  
私に面倒かけないで  
くれるからな!

でも…今は  
泣いたって  
いいんだぞ



嫌だと叫ん  
だっていい

死ぬのが怖くない  
者はいないんだから



いいえ…これは



次の転生きせつの  
訪れです

御阿礼の子  
なんですから！

とても喜ばしいと  
思っています

私は…

この死を祝福する

# おめんどり

こんにちは、滝太郎です。徒歩こと無駄にカラーで合同です！漫画がいきなり阿求が死んだって所から始まってんですが。一番新しいキャラになんて事を（笑）阿求の子供のくせに境遇から精神年齢が高すぎることかが好きです。子供らしくない感じが。そんな聡明で、自分の役割を知ってる彼女でも死を目の前にした時は悪あがきして、そして切なさ倍増してるといってお話でした。カラーで描いたら良い色合い+今描きたいメンバーで構成したので色々無理がある設定か…も。

鬱漫画を勝手に載っける気で挑んでるので、後半私の漫画からテンション下がるものになってたらスマセン…（笑）いや、それでこそ「相殺インフェルノ」ってタイトルに合うんじゃないかなと思って！お互い好きなものしか描かねえよでカオスな本になってると良いです。ではでは！

読者様とゲスト様は神！ 滝太郎



THANKS  
FOR YOUR  
READING!







LETTA

TOUHOU PROJECT  
ALLCOLORCOMICBOOK